

Christmas illumination project

建築社会基盤系学科3年 高井 友葵

地域住民の方々に、室蘭工業大学をより身近に感じていただきたいという思いから始まった Illumination Factory は、今回もらんらんプロジェクトの一環として企画させていただきました。電飾を N 棟前校門側の木々に巻き付け、それを点灯することにより学生や教職員、大学を訪れる方々の皆様にイルミネーションを楽しんでいただき、大学内外を明るくしたいというものです。企画スタッフは大学公認サークル Studio 催事のメンバーから募りました。

今回は点灯期間を 12 月 16 日から 25 日までの 17:00 から 22:00 の間に点灯していました。夜の大学を明るく照らすことができ、地域住民の方々や学内の教職員の方、生徒の皆様に見ていただくことができました。今回は令和初ということで電飾の数を例年より増やし、例年よりイルミネーションの輝きを高めました。

今回も水元スクール児童館の方々にご協力をいただき、地元の小学生に事前にペットボトルキャンドルホルダーを製作させていただきました。それを 12 月 22 日のイベントの際に道に沿うように置き、点灯するというものです。水元スクール児童館の児童達の作品の完成度はとても良く、22 日のイベントの楽しんでいただくポイントの 1 つでした。

また、今回は N 棟の改装工事も終わり、体験型のイベントを行うことが出来ました。12 月 22 日の 14:00 から 17:00 まで N 棟コミュニケーションホールで「クリスマスカードづくり」「木粉粘土のキーホルダーづくり」をイベント項目とし、ココアの無料配布を行いました。そして、17:00 からはペットボトルキャンドルに火を灯して、電飾とキャンドルの火の調和を楽しんでいただきました。親子で参加くださり、製作を楽しく行う姿に微笑ましく感じました。点灯の際も水元スクール児童館の子供達が親御さんと一緒に来てくださって楽しく会話をしており、今回の企画を実行して良かったという喜びを感じる事が出来ました。

スタッフ全体としては 10 月から本格的に会議を行い、作業に取り組みました。事前に電飾の点検作業、知名度を広めるためのポスターづくりを行い、2 日前に必要な道具などを借り、配色を考えながらスタッフ一同で協力して電飾の取り付けを行いました。雨風や雪による電飾、電気配線の故障への対策を考慮した結果、故障や事故無く企画を終えることが出来ました。

今回の企画で私たちスタッフは多くのことを学び、成長することが出来たと実感しています。起こりうる問題を予測し、その対策を考え、起こった問題には速やかに対処をし、一人一人が考え、主張し、行動に移していきました。スタッフ同士のコミュニケーションの重要性も学ぶことが出来ました。小さなトラブルはありましたが、今回の企画での良い点は活かして、悪い点は改善して今後のサークル活動に活かしていきたいと思えます。

最後に、ご来場いただいた皆様、企画スタッフ、ならびに、ご協力をいただいた皆様に心から感謝いたします。誠にありがとうございました。

